

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は久留米大学病院に多大なるご厚情を賜りましたことを心より御礼申し上げます。医療連携センターは地域医療機関との連携を通じ、患者さんの治療の継続性の確保と医療情報の共有化を図り、地域医療の発展に寄与することを目標に掲げ、地域医療機関との「病診連携」、「病病連携」の充実、円滑化に取り組んでまいりました。

これまでFAX中心にお受けしていた外来紹介は、診療科によっては受診日時決定に時間がかかり、ご迷惑をおかけしていましたが、平成29年9月以降電話紹介予約の改善に取り組み、電話があった際に直ちに予約日時を回答できるように変更しました。まだこの体制に対応ができていない診療科も一部残っていますが、今後更なる改善に努めてまいります。

今後も皆さまの貴重なご意見を基に、より良い地域医療連携を構築するため頑張ってまいりますので、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

本年が皆さまにとりまして良き年になりますことをお祈り申し上げます。

平成30年1月

医療連携センター長

渡邊 浩

病院執行部体制

病 院 長	八 木 実
病院長特別補佐	志波 直人
副 院 長	上野 高史
	山川 良治
	鳥村 拓司
	田中 芳明
	渡邊 浩
	福本 義弘
	高須 修
	上野 知昭

私たちの理念

人と地球にやさしい、生命を慈しむ医療

私たちのめざす医療

1. 患者中心の医療
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
2. 共生の医療
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
3. 高度で安全なチーム医療
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
4. 地域と共に歩む医療
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
5. 優れた医療人の育成
教育機関として高水準の医療技術と思いやりを備えた医療人の育成に努めます。

TOPICS

医療連携センターの取り組み

本年度より医療連携センター所属となりました七種伸行です。診療録や医療情報システムの管理・運用を担当する医療情報センターとの兼務を通じて、より効率的な連携体制の構築を目指しております。今回は医療情報分野に関連した地域連携の取り組みについてご紹介します。

当院が参加している、くるめ診療情報ネットワーク協議会（アザレアネット）は久留米地区医師会を中心に運営され、近隣の佐賀県や八女筑後地区とも相互連携しています。患者さんから個別に同意を頂けば、当院の診療情報をセキュリティの確保されたインターネット回線を通じて連携先医療機関に開示することが可能です。現在の開示対象は検査結果・画像・処方・注射・退院時要約等に止まりますが、日々の診療録・看護記録にも拡大する方向で検討中です。当院での同意取得件数も増加傾向にありますので、域内の患者さんや医療機関様は是非ご活用ください。

これに加え、来年度からは内閣官房主導の次世代医療ICT協議会が進める地域医療連携システム研究事業にも参加する予定です。この研究事業では、本来患者さん本人のものである医療情報をスマートフォンアプリでご本人に提供し、より広域・広範囲の連携を可能とするサービスが提供されます。また、個人情報保護の観点から厳しい管理が求められる医療情報に対し、匿名加工（個人が特定できない状態にすること）を施すことで医療ビッグデータの利活用を可能とする次世代医療基盤への発展が予定されています。

医療連携センターではこうした情報技術をより有効に活用するため、業務改善に取り組んでいます。本年度より、患者さんを外来から入退院・後方連携まで円滑なチーム医療を行うための入退院患者支援センターを稼働しています。現在の対象は心臓血管内科・外科、消化器外科（肝胆膵領域）、耳鼻咽喉科の一部疾患ですが、来年度以降も段階的に疾患・診療科を拡張していく予定です。

＊アザレアネットについては「くるめ診療情報ネットワーク協議会事務局」のホームページを参照ください。

URL <http://www.azaleanet.info/>



医療連携センター
副センター長 七種 伸行

病床移転について

脳神経外科病棟が総合診療棟8階から病院本館東棟8階へ移転いたしました。電話番号等に変更はございませんが、ご来院の際には病院本館へお越しいただきますようお願い申し上げます。

移転日：平成29年12月1日(金)

認知症医療センター公開講座のご案内

本院は、平成23年11月15日に福岡県認知症医療センターの指定を受けており、認知症の方の診断・治療のみならず、地域における医療と介護のネットワーク推進、啓発活動に取り組んでいます。平成29年12月19日(火)には、地域の医療機関や介護施設、行政職員、地域包括支援センター職員等を対象に、第16回事例検討会を開催いたしました。また以下の日程で市民向けの公開講座を開催いたしますので、どうぞ奮ってご参加ください。

*詳細や申し込み方法等に関しましては、福岡県認知症医療センターのホームページにて随時掲載いたしますので、そちらもご覧ください。

平成30年3月17日(土) 【福岡県地域住民・家族介護者向け】

認知症公開講座 13:00～17:15

「認知症の予防と安心して暮らせるまちづくり」
(会場：久留米大学筑水会館イベントホール)

もの忘れ検診実施(無料) ①13:00～14:00 ②16:15～17:15
(会場：久留米大学筑水会館1階 中会議室)



診療科紹介：乳腺外科・一般外科外来

久留米大学病院乳腺・一般外科外来は昭和63年より乳腺・内分泌外科グループとして独立して診療しています。当時は乳腺疾患に対する関心が現在ほど高くはなく、独立した診療科では九州ではいわば先駆けとして発足し、以後臨床経験を蓄積しています。現在では女性の11人に1人が罹患するといわれておりますが、乳癌は早期発見と適切な治療により良好な予後だけでなく、治療後の生活の質の改善が期待できます。エビデンスに基づいた治療とフォローアップを念頭に、経験豊富なスタッフにより治療が行われています。また、癌治療はもちろんのこと2017年度より久留米市検診の1次検診施設として登録され、予約制ではありますが、大学病院にて市検診を受診することが可能となりました。地域のがん拠点病院としての役割を担い、地域医療施設との密接な連携を保ちながら、患者さんの立場を第一に考え、現時点におけるバランスのとれた最良の医療を心がけています。何かございましたらどうぞお気軽にご紹介ください。

(文責 高尾 優子)

新任診療部長紹介

平成29年5月1日就任



教授
もんてん 門田 ゆう
遊

眼科

1. 久留米大学（平成元年卒）
2. 前眼部疾患、角膜移植、羊膜移植
3. 角膜移植は近年、全層移植からパーツ移植に進歩しています。当科におきましても、角膜内皮障害による水疱性角膜症に対しては角膜内皮移植（DSAEKまたはDMEK）を行い、角膜実質混濁に対しては角膜実質移植である深層表層角膜移植（DALK）を行っています。羊膜移植は平成26年に保険収載されたため、久留米大学羊膜バンクを設立し、難治な再発翼状片手術を中心にを行っています。今後ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成29年7月1日就任



教授
のむら まさとし
野村 政壽

内分泌代謝内科

1. 九州大学（昭和63年卒）
2. 糖尿病、内分泌代謝
3. 近年増加の一途をたどる糖尿病をはじめ、高血圧症、脂質異常症、肥満症、骨粗鬆症などの代謝性疾患、さらに甲状腺、間脳・下垂体、副甲状腺、副腎、性腺等の内分泌疾患まで包括的な診療を行っています。患者さん一人一人に寄り添い、関連する診療科との連携を図り、最善の治療を提供する個別化医療、そして先制医療を実践します。久留米筑後地区が健康長寿日本一になるよう地域医療に貢献して参る所存です。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成29年10月1日就任



教授
さとう きみあき
佐藤 公昭

整形外科

1. 久留米大学（昭和61年卒）
2. 整形外科（脊椎脊髄外科）
3. 常日頃より、多くの先生方から患者さんをご紹介いただき深謝しております。私達は、顕微鏡や内視鏡を用いた低侵襲手術、難治性疾患や重篤な脊椎外傷等、多くの脊椎脊髄疾患の治療を日々行っています。手術中は脊髄モニタリングを用いて安全性を確保し、術後は疼痛コントロールにも配慮した質の高い医療を実践しています。今後とも地域医療発展のために尽力する所存ですので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。